

かじたま 鯉中魂



学級通信
鯉沢中
3年生
2019年5月29日
No. 5
やい場のない思い



道徳「あの日 生まれた命」



読み物について

東日本大震災の中、我が子の誕生と、おばあさんの死の両方を同じ日に経験し、子どもの誕生を素直に喜ばずに複雑な思いを抱えるお母さんがいました。そのお母さんと1歳になった赤ちゃんのもとに、遠く離れた北海道から「希望の『君の椅子』」が届きます。その椅子に込められた思いから、お母さんの心が徐々に変化していきます。3月11日に起こった生と死、それを取り巻く家族の思いを考えることで、命の尊さ、いかにして命を大切にしていくかを考えさせられる資料です。

私も、あの日に生まれた命に「生まれてきてくれてありがとう」と伝えたいです。昨日、言葉にならない不条理な事件がありました。生まれてはいけない命はこの世にはありません。どの命も祝福されてこの世に生まれて欲しいし、生を謳歌して欲しいです。亡くなった犯人を許すことはできませんが、彼には自分の居場所がなかったのでしょうか。誰もが居場所のある社会を実現したいと強く思いました。

3月11日に生まれた君へ

世界にひとつだけの「希望の『君の椅子』」

3月11日。日本が息ものみ、言葉を失ったあの日。

母なる宇宙から君は生まれた。

未来への希望を携えて君は生まれてくれた。

新しい生を受けた君に、この椅子を贈ろう。

君の名前と「3月11日」が印された。君だけの椅子だよ。

君がこの椅子に座るのは、ほんの数分かもしれない。

たくましく成長していくのだから……。

そして大きくなった君は、この椅子を忘れてしまうかもしれない。

でも、君との思い出を刻んだこの椅子は、

ずーっと倒れにゐるからね。

君の居場所は、ここにあるからね。

いま、この地に生を受けた君に、この椅子を贈ろう。

生まれてくれて ありがとう。

「君の椅子」プロジェクト 同

◆ 「あの日 生まれた命」をみつめることが、「あの日 失われた命」をみつめること

につながるのなぜでしょうか？

- ☞ 生まれは命→うれしい。失われた命→悲しい。これは二律背反。生まれた人は、亡くなった命のぶんまで幸せに生きる。失われた命は、生まれた人に大切に生きて欲しいと願うから。
- ☞ 亡くなった人は、生まれた人に命を大切にしてほしいと願っている。生まれた人は、永遠に亡くなった人のことを忘れることはできないと思う。生まれた人の心に中に、亡くなった人は生きている。亡くなった人の心の中には、生まれた人の明るい人生が映っている。

19人刺され児童ら2人死亡

川崎 容疑の51歳男自殺



28日午前7時40分ごろ、川崎多摩区登戸新町の路上で、男が私立カリタス小(多摩区)のスクールバスを待つ児童ら19人を刺した。重傷は別の児童2人と40代女性。男は直後に自分の首を刺し、死亡が確認された。捜査本部によると、川崎市麻生区の職業不詳、岩崎隆 容疑者(51)が、目撃情報などによると、丸刈りで眼鏡をかけ、黒いシャツとスポン姿で、両手に包丁を持ってバスを待つ児童らにゆっくりと近づき次々に襲撃。現場には「ギャー」という声が響き、10人ぐらいが倒れ、血が流れていた。「お父さん、お母さん、どうしたらいいの」という声も聞こえた。



小学生を含む19人が刺された現場で救助活動をする消防隊員ら。中央上は通学バス
—川崎市多摩区

による深い傷があった。小山さんは首のほか、肩や背中にも傷があり、児童らを守ろうとして背後から襲われた可能性がある。
重傷の17人も刃物で切り付けられるなどし、傷は頭や肩など上半身に集中していた。重傷の女児の1人には胸に刺し傷があった。
安倍晋三首相は、柴山昌彦文部科学相と山本順三国家公安委員長に対し、全国の小中学校における登下校時の安全確保と、事件の迅速な全容解明を指示した。
現場はJR南武線と小田急線の登戸駅から北西約2500mのマンションなどが立ち並ぶ一角。カリタス小は学校法人カリタス学園が運営し、系列の幼稚園や中学、高校がある。

—関連記事3、26、27面

- 命は必ずどこかで繰り返される。「あの日 生まれた命」をみつめることは、「あの日 失われた命」を、今ある命に想いとしてつなげる。これが命の繰り返しであり、人々の記憶がなくなる限り、魂はこの世に残り続けるから。
- どうしても重ねてしまう。失われた命は生きていて、生まれた命は生かされていく。生まれた人にできることは、命の尊さを、この悲劇で認識し、精一杯生きること。

あなたは、痛ましい事件を通して、

「命の尊さ」について

どんなことを感じましたか？

(5/29 山梨日日新聞 1面)



シャトルランや中間テスト等で、
3年生は尊い命を輝かせています